

熊本高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	特別学習第二
科目基礎情報					
科目番号	LK1155		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	共通教育科 (熊本)		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	0.5	
教科書/教材					
担当教員	教務係 (または非常勤講師)				
到達目標					
・この科目は個性を伸ばす教育の一つとして、各自の積極的な学習活動を評価するものである。 ・学生が自発的に行う学習活動で、教育上有益と認められるものについて、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、ボランティア、特別講義などの成果が認められた場合に、単位の修得を認定する。 ・科目は第一、第二に分けられ、各単位数は1単位である。 ・ただし、この修得単位は卒業認定に必要な単位には含めない。					
ループリック					
	時数			達成目標	
ロボットコンテスト	30			チームメンバー	
プログラミングコンテスト	30			チームメンバー	
特別講義等	30			30単位時間以上の活動	
特別講義等	実単位時間			30単位時間未満の活動	
環境ボランティア	30			30単位時間以上の活動	
環境ボランティア	実単位時間			30単位時間未満の活動	
バイク講習会学生指導員ボランティア	30			30単位時間以上の活動	
バイク講習会学生指導員ボランティア	実単位時間			30単位時間未満の活動	
ボランティア	30			30単位時間以上の活動	
ボランティア	実単位時間			30単位時間未満の活動	
廃炉創造ロボコン	30			30単位時間以上の活動	
廃炉創造ロボコン	実単位時間			30単位時間未満の活動	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	・この科目は個性を伸ばす教育の一つとして、各自の積極的な学習活動を評価するものである。 ・学生が自発的に行う学習活動で、教育上有益と認められるものについて、ロボットコンテスト、ボランティア、特別講義などの成果が認められた場合に、単位の修得を認定する。 ・学習活動の蓄積で評価されるので、低学年の内から積極的に取り組むことが大切である。 ・科目は第一、第二に分けられ、各単位数は1単位である。 ・ただし、この修得単位は卒業認定に必要な単位には含めない。				
授業の進め方・方法	・単位の認定申請は1～5年の各学年で可能である。 ・活動が複数の学年に渡った場合、前年度のものとの合算であれば申請できる。 ・複数の活動を組み合わせた場合でも申請できる。 ・余った換算時間数は他の単位申請には使用できない。 規定授業時数＝換算単位時間				
注意点	・修得認定は上記の活動について各換算単位時間を設定し、それらの合計が30単位時間以上で申請することによって科目の修得が認定される。 ・履修単位に応じて、特別学習第一、および第二のいずれか一方または両方を選択でき、単位の修得を認定されたものの評価は「S」とする。 ★ただし、同種の活動はいずれか一方の申請にしか使用できず、特別学習第一と第二の両方に申請することはできない。 ・上記以外で、類似すると思われる学修活動の単位修得については、教務委員会で検討し、該当すると判断されたなら、単位時間に換算し、30単位時間以上で1単位として認めることがある。				
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			

		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		活動時間		合計	
総合評価割合		0		0	
基礎的能力		0		0	